



# スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和5年9月29日発行 No.21

7月14日（金）に、北海道教育大学釧路校准教授 戸田竜也氏を講師に迎え、「発達に心配のある子」をテーマに講演会を開催しました。

参加者同士でグループトークをしながら、子どもの思いを考えたり、親としての思いを話したりと、積極的に意見交換をされていました。参加者からは、「同じような悩みを持った保護者と話す機会が持てて良かった」「自分だけじゃないんだ」など、気持ちが楽になったという意見が多く聞かれました。今回は、講演会の内容についてお伝えします。



## 子どもの行動には「理由」がある

《事例》

### 授業中に鉛筆をコロコロする A 君

- クラスメイトには迷惑行為？
- 教員からは叱責の対象？

### A 君の心の声を聴くと…

視覚の過敏さから、人よりまぶしさを感じやすい A 君は「教科書が光ってまぶしい。つらいけどなんとか我慢しようとして、鉛筆をころがしてしまうんだ」

**“子どもなりのそうせざるを得ない理由がある”**



## 子どもの「ねがい」と「なやみ」

◎子どもの行動やことばから想像してみましょう！

- 子どもの視点に立ってみる。
- 「なぜかな？」「どういう気持ちかな？」と仮説を立てる。



子どもは“こういうつもりだった”  
大人は“こうだと思っていた”

**この思いのズレに気付けるかも…！**

## 親の「ねがい」と「なやみ」

### 親としてのねがい

- こんな生活がしたい
- こんな子育てがしたい
- こんな子どもに育ててほしい

### でも実際は…

労働状況・経済状況・支援者の有無うまく子どもと関われない…など。

**実際の生活によるズレがある**  
➔ **ストレス・悩み**

## 「子育て」ひとりじゃできっこない！

### 大人の行動にも理由がある！

- 寝不足で…。
- 兄弟の育児が大変で…。
- 仕事が忙しくて…。

### 誰かに相談できますか？

困ったときに援助を求めることは大人も子ども必要なから！

**「親同士」「支援者」など相談できるなかまが大切です**



※ 伝え方やほめ方のポイントなど、これまでのスマイル子育てだよりは釧路市 HP に掲載しています。

(<http://www.city.kushiro.lg.jp/kosodatekyouiku/kosodate/1005280/1005394/1005403/1007371.html>)

※ 質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

- ◇ 地域支援相談担当 44-3555
- ◇ 野のはな園 44-1022



スマイル子育てだより  
バックナンバーはこちら